

# 一般質問

## 5 議員が登場

### 伊賀上 明治 議員 (8ページ)



- ◆なぜ本町は未だに予定価格を事前公表しないのか。
- ◆不祥事防止に対する対策は万全か。
- 電子入札の導入状況は。

### 西村 元一 議員 (9ページ)



- ◆なぜ陶芸教室を会員の手で閉鎖、撤去移転を。
- ◆身体障がい者に対する支援は。

### 藤岡 緑 議員 (7ページ)



- ◆新型コロナウイルス感染症収束後、暮らしへの影響と行政の対応は。
- ◆地域高齢者の暮らしを支え合う活動に対する町の支援は。

### 影岡 俊範 議員 (9ページ)



- ◆高齢者支援として、ごみ出しと安否確認は。
- ◆不登校対策「COCOLOプラン」を受けて本町での取組は。

### 住田 英次 議員 (8ページ)



- ◆北黒田臨海部の道路整備の考えは。
- ◆町道と県道の相互移管による地域経済活性化の環境づくりの考えは。



藤岡 緑 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症収束後の社会について、私たちの暮らしへの影響と行政の対応は。

**答** 約3年間にわたり8回の大きな感染の波に襲われ社会全体に大きな影響があり制限された生活を強いられた。

令和5年5月には感染法上の分類が2類から5類に引き下げられ社会生活も落ち着きを取り戻してきた。

コロナ禍の中で3密を避けるために特に発達したテレワークやオンライン会議の定着で、デジタル技術の活用が広く浸透してきた。このような社会変化に合わせて行政手続きのオンライン化、人口減少対策、DX推進など緊急度の高い課題に優先して対応していきたい。また本町の利便性を生かし、町内の空き店舗を活用したレンタルオフィス

スやコワーキングスペースとして民間事業者や個人に貸し出すことで企業誘致や移住の促進も検討している。



テレワークで能率アップ

**問** 地域の高齢者の暮らしを支え合う活動に対する町の支援は。

**答** 町内の65歳以上の高齢者千人を対象に介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を行ったところ、約6人に一人の割合で生活に困りごとがあるとの回答であった。

具体的な内容で多い順に、「庭木の剪定、草引き」「電球の交換」「買い物」「ごみ出し」「調理、掃除」などで、地域の助け合い活動の協力者になることへの関心も高かった。町内にも既に行政区単位の支え合いサークル1団体、町内全体を対象のボランティア団体の2つがある。今後はこの互助活動を他地域へ広めるため組織の発足や活動を支援する補助制度を検討している。